

2024 年度 自己評価 学校法人 都城コア学園 都城デンタルコアカレッジ

1 自己評価の目的と実施方法

学校運営が教育目標に沿って計画的に実施され、地域社会や企業・施設等のニーズに合致したものであるかを検証するとともに、学生が実践的な知識・技術を習得し、社会人としての責任の自覚を確認することで、学校改善を図り、教育水準を向上させることを目的とする。

評価に当たっては、4段階評価とし、可能な限り根拠や課題・改善策を明示するものとする。

なお、この自己評価結果は、学校関係者評価委員会に図り、その結果は公表する。

2 自己評価内容・項目

(1) 教育理念・目標 ●適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

1-1	専門分野の特性を明確に表した学校の教育目標・育成人材像が定められているか。	4	3	2	1
1-2	地域社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1
1-3	学校の教育目標・育成人材像・特色等が学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

- ・従前の「時代の要請に応え得る歯科衛生士の養成」という教育目標とともに、その具現化の例として、地域に貢献する人材の育成にも努める。

② 今後の改善方策

- ・これまでの取り組みを継続し、地域社会のニーズ等を常に把握しながら、本校の教育目標・育成人材像を学生及び保護者、地域、高校関係者に周知していく。

(2) 学校運営

2-1	教育目標に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1
2-2	法規及び学校運営方針に基づいて、諸規程が整備されているか。	4	3	2	1
2-3	計画的な学校運営が行われているか。	4	3	2	1
2-4	校務分掌を明確にし、組織的な学校運営が行われているか。	4	3	2	1
2-5	教育活動等に関する情報公開は、適切になされているか。	4	3	2	1
2-6	全教職員による学校運営協力体制と教職員間の意思疎通が図られているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

- ・教育目標に沿いながら、学生募集や定員充足を目標の第一として、抜本的な組織の改革を進めていく。

② 今後の改善方策

- ・教職員間の意思疎通を図るために、定例の会議を充実、新設していく。

(3) 教育活動

3-1	教育目標に沿った教育内容かつ体系的な教育課程が編成されているか。	4	3	2	1
3-2	教育課程を組織的に検討する体制が整備されているか。	4	3	2	1
3-3	科目の指導内容、評価基準を示すシラバスが作成されているか。	4	3	2	1
3-4	校内規定に沿った適切な成績評価・単位認定、進級及び卒業判定が行われているか。	4	3	2	1

3-5	実習施設との連携を図りながら、臨床（臨地）実習の適切な実施時期、内容、評価方法が行われているか。	4	3	2	1
3-6	実習におけるリスクマネジメント体制は整備されているか。	4	3	2	1
3-7	教育目標・育成人材像の具現化を図るための指導体制を整え、適切に指導がなされているか。	4	3	2	1
3-8	学習成果発表の機会を設定し、実施が図られているか。	4	3	2	1
3-9	教職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	3	2	1
3-10	学生自治会活動等への助言・支援が行われているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

- ・学生が履修する科目数や授業時間数について、定められた法令等に基づいて、学生や講師にとって、より効果的で効率的なカリキュラムの在り方を検討していく。

② 今後の改善方策

- ・臨床実習の事前会議の持ち方について、事前に説明内容や協議事項、配付資料等を協議して、学生と歯科医院との間で有意義な実習になるよう、努めていく。

（４）教育成果

4-1	資格取得の意義を明確に示しながら、受験者全員取得を目指す取り組みが行われているか。	4	3	2	1
4-2	学習力を向上させるための方策が図られているか。	4	3	2	1
4-3	計画的な就職指導・支援等により、志望者全員の就職内定が図られているか。	4	3	2	1
4-4	個別的な支援体制を整え、保護者と連携しながら退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

- ・学業不振の学生への個別支援を充実させる必要がある。
- ・国家試験対策として、計画的な模擬試験を実施し、習熟度に合わせたグループ編成など、学生の学力を検討して、効果的な取り組みを継続して行っていく。

② 今後の改善方策

- ・学生の学習と生活状況・健康状態を把握し、職員間で情報を共有して、指導に生かしていく。
- ・歯科衛生士学科を有する系列校との情報交換や情報共有を図り、より効果的な指導の在り方を目指していく。

（５）学生支援

5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1
5-3	経済的な支援体制を整備し、学生・保護者への周知が図られているか。	4	3	2	1
5-4	学生の健康管理体制は整備されているか。	4	3	2	1
5-5	卒業生への支援が行われているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

- ・入学説明会や学生対象の奨学金説明会等を開催し、就学支援制度等の周知を図っている。
- ・本年度から都城歯科医師会の協力を得て、就職説明会を実施した。

② 今後の改善方策

- ・就職説明会の在り方について、都城歯科医師会と継続して協議していく。

(6) 教育環境

6-1	実習施設・設備等に対して、十分な教育体制が整備されているか。	4	3	2	1
6-2	施設・設備及び備品の管理は適切に行われているか。	4	3	2	1
6-3	万が一に備えた保険等の処置は十分に施されているか。	4	3	2	1
6-4	事故・防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

- ・設備関係は、必要に応じて交換や点検を行っている。地域歯科医師会の協力を得て、実習施設は確保している。

② 今後の改善方策

- ・施設、設備及び備品の点検・管理を適切に行い、問題発生時には、速やかに対処する体制を維持し、校内施設・設備の充実に努める。

(7) 学生募集

7-1	学校案内、ホームページ等には正確な情報を掲載し、個人情報には十分留意されているか。	4	3	2	1
7-2	問い合わせ・相談には、適切・丁寧に対処されているか。	4	3	2	1
7-3	全教職員が関連情報を共有し、協力体制での募集活動が行われているか。	4	3	2	1
7-4	入試事務を的確に処理し、また、入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき、組織的に行われているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

- ・ホームページとともに、インスタグラム等の SNS を充実させることで、オープンキャンパス参加者の理解と関心を促す必要がある。
- ・オープンキャンパスの際、現役学生による運営や説明を強化していく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・組織を抜本的に改革し、全職員の協働による学生募集を組織的、戦略的に進めていく。
- ・都城歯科医師会や県内の歯科衛生士養成校との連携を強化していく。

(8) 財務

8-1	財務諸表に基づく分析を行い、健全な財務に保持されているか。	4	3	2	1
8-2	予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか。	4	3	2	1
8-3	財務について、会計監査が適正に行われているか。	4	3	2	1
8-4	財務情報公開の推進が図られているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

- ・定員充足面で、高等教育の修学支援新制度対象校の条件として、十分とは言えない。

② 今後の改善方策

- ・学生募集面で都城歯科医師会や県内の歯科衛生士養成校との連携を強化していく。

(9) 法令等の遵守

9-1	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営は行われているか。	4	3	2	1
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策が施されているか。	4	3	2	1
9-3	自己評価及び学校関係者評価を実施し、問題点の改善が図られているか。	4	3	2	1

9-4	自己評価及び学校関係者評価結果は公表されているか。	4	3	2	1
-----	---------------------------	---	---	---	---

① 取組状況・課題

- ・職員のコンプライアンス意識の向上を図る。

② 今後の改善方策

- ・学生の意見を集約するとともに、定例の会議を新設して、その中で職員のコンプライアンス意識の向上に努める。

(10) 社会貢献・地域貢献

10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献が図られているか。	4	3	2	1
10-2	学生ボランティア活動の奨励、支援が図られているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

- ・小学校等の児童や福祉施設の高齢者向けに、歯みがき指導や口腔ケアを実施している。
- ・歯科医師会主催の「お口の健康フェスティバル」等のイベントに参加している。

② 今後の改善方策

- ・学生数と通常の教育活動の関係から、上記の地域貢献活動を拡大していくことは容易ではない面もある。学生と地域の双方にとって、より効果的で必要とされる活動の充実を図っていくとともに、都城歯科医師会との連携は強化していく。